

猫の忌避方法について 猫が庭などに入らないようにする方法



那珂川市

猫にとって快適な場所 = 猫が好む場所とは

猫が庭や花壇・畑に入って
フンや尿をするのは、
その場所が周辺のどの場所よりも
「その猫にとって快適な場所」
だからです。

- ① 人の出入りが少なく、番犬などもない場所
⇒ 「静かで安心できる」場所
 - ② やわらかい土や砂、芝生等がある場所
⇒ 「気持ちよく排便できる」場所
 - ③ エサを探して歩かなくてもいい場所
⇒ 「簡単にエサが得られる」場所
- これらの条件を満たした場所です。

猫が来ないようにするためには、「猫が好む場所」から「猫が嫌う場所」に変えることが効果的ですが、実際に行う場合、「どうすればいいのか」など悩んでしまいます。

そこで、インターネットなどで取り上げられている**猫の忌避方法**をまとめてみました。

- ※1 インターネットなどから集めた情報ですので、根拠や効果が不明な方法もあります。
- ※2 猫には、個体差があり、あまり反応しない猫もいます。
- ※3 方法によっては、効果が長続きしない場合や、反復継続して行うことが必要な場合が多いです。
また、だんだんと猫が慣れてしまっただけで反応しなくなる場合もあります。
場合によっては「さまざまな方法を交互に行う」等の工夫をするのも効果的かもしれません。



「居心地の悪い場所」ということを、「猫が覚えるまで続ける」ことが重要なポイントです。

那珂川市役所 市民生活部
環境課 生活環境担当

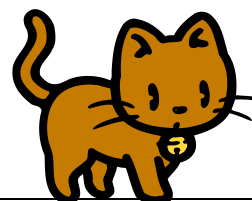
☎ 092-953-2211 内線:182・183

忌避剤

猫の嫌いな臭いや刺激性によって猫が近づきにくくする方法です。

- ・雨や風で効果はだんだんと薄れます。効力を維持するために定期的に交換しましょう。
- ・猫が臭いに慣れてくると効かなくなります。同じものを長時間利用するのではなく、時々種類を変える必要があります。
- ・臭いがきついものや色が付いてしまうものもあります。
- ・あらかじめ、近所の人にも説明しておきましょう。

※化学薬品などは、化学物質過敏症など健康被害の誘因となる可能性がある
あるので使用は控えてください。



方法	使用方法・参考事項等
市販の忌避剤	ペットショップや薬局、ホームセンター等で販売されている市販の忌避剤を使います。 ※ 長期間にわたって効果が持続するわけではありません。 ある程度の期間ごとに繰り返し撒く必要がありますが、価格との兼ね合いも考えて使わなければなりません。 ※猫の個体差によって反応が鈍い・効かないなどの場合もあります。
香りの強いハーブなどの植物を植える	猫の嫌がる香りのするハーブなどを植えたり、ハーブの鉢植え（またはハーブの香料など）を猫の通り道に置きます。 《効果があると言われている植物の例》 ※ランタナ、ユーカリ、ゼラニウム、ヘンルーダ、ローズマリー、レモングラス、柑橘類、ペパーミント、タマネギ、ニンニク、チャイブ、マリーゴールド、カニナハイブリッド（ドイツで開発されたコリウスの一種で犬にも有効と言われる） など。
木酢液・竹酢液など	園芸用肥料としてホームセンター等で販売されているものを薄めて散布します。 使い方 ：希釈して、猫の通る場所などに散布（又はスプレー）するか、容器に入れたスポンジや布に染み込ませて置きます。 ポイント ：匂いは時間とともに少なくなります。 「嫌な匂いの場所」と猫が覚えるまで、気長に散布などを続けましょう。 《参考：木酢液・竹酢液を加工して使う方法》 材料 ：木酢液（約400ml）、唐辛子（10～15本）、レモンバームの葉（20～30枚） 作り方 ：（1）500mlの空のペットボトル容器に上記の材料を入れます。 （2）1～2日後にレモンバームと唐辛子を除きます。 使い方 ：4～8倍に薄めて使います。（匂いがきつい場合は10倍位まで薄める）
玉ねぎ	玉ねぎをバラバラにして撒きます。※「効果があった」との報告がありました。
生のにんにく	生のにんにくを細かくきざんで撒いたり、ネットに入れて吊るします。

唐辛子	細かく刻んだ唐辛子か粉末状の唐辛子を撒きます。。
香辛料	コショウ、カレー粉等の香辛料を猫の通り道やフンをする場所に散布します。
米のとぎ汁	磨きはじめの濃い汁を毎日撒く。
コーヒーかす、茶殻	コーヒーを淹れたあとの「かす」や、どくだみ茶などの茶殻を散布します。 ※ 乾燥してしまった場合の効果は不明ですが、花壇等にも撒けます。
かんきつ類	みかんなど、かんきつ類の皮を撒く、あるいは、かんきつ類の香りのする薬品を置きます。※かんきつ類の皮の場合、乾燥してしまったときの効果は不明です。
食用酢	酢を容器に入れるか、スポンジや布に浸み込ませて置きます。 ※2倍～10倍程度に水で薄めたものを毎日噴霧します。
ハッカ系のもの	ハッカの香りのするもの（芳香剤、ハーブ、練り歯磨きなど）を置きます。
どくだみの葉	どくだみの葉をつぶしたものや汁や撒いたり、どくだみを植えます。
重曹	撒いたり、土に混ぜ込むことで、猫のにおいを消すことができます。
タバコの吸殻水	タバコの吸殻を水やお湯につけておいたものを撒きます。 (誤って飲むとニコチン中毒になるおそれがあるので取扱い注意。)
塩素系漂白剤	ブリーチやハイターなどを濃いめに水で薄めて容器に入れておく。 (散布すれば猫の臭い消しにも有効。目、鼻、喉の粘膜を痛めるおそれがある。また、腐食するので金属部には使用できない。取扱いに注意する。)

構造物による忌避

出入り口や猫が休息する場所、猫が塀を飛び越える時に足場になる場所などに、猫が嫌がるものを置く方法です。



水を撒く	ホースでたっぷり水を撒きます。 ※猫は体がぬれることを嫌がります。
枯れ枝	球根や種を植えている所に敷きつめます。 ※猫に掘り返されないとされています。
大きな石	猫が物理的に歩けなくなる位置に石を置くなどの方法です。
松ぼっくり	猫が歩く場所に敷きつめると効果があると言われています。
目の細かい網	目の細かい網を敷くと爪が引っかかり歩きにくいと言われています。

砂利(軽石)	<p>大きめの砂利を敷き詰めます。</p> <p>※軽石(中玉の大きさ)は安価で効果も大きいとの評価があります。</p> <p>花壇などの場合は直径1cm程度の軽石が混じった観葉植物用の土を敷きます。</p> <p>※ホームセンターで見かける防犯砂利を敷く。(高価だが、防犯効果も含めた効果が期待されます。ただし、猫に対する効果は未確認です。猫に対しては大きさが小さめのものを選ぶと良いかも)</p>
トゲのある植物	<p>トゲのある植物を植えたり葉を撒きます。</p> <p>《効果があると言われている植物の例》</p> <p>カラタチ、バラ、サボテン、ヒイラギ、ピラカンサ、地面に沿って延びるタイプのコニファー</p> <p>※猫の通り道対策として植える。ヒイラギの葉を花壇等の表土に混ぜ込むと効果的との報告があります。</p>
地面をおおう植物	<p>地面をおおう植物を植えます。</p> <p>《日当たりの良い庭に適した植物の例》</p> <p>タイム、ヘリクリサム、ビオラ、オランダイチョゴ、ケンタッキーブルーグラス、ブルーフェスク、リボングラス、レモングラス、ゼラニウム など</p> <p>《日陰になりやすい庭に適した植物の例》</p> <p>アイビー、ツルニチニチソウ、斑入りカキドオシ、ラミウム類 など</p> <p>※植物が10~30cmぐらいの高さ(猫の目の高さぐらい)に繁っていると、猫は茂みを嫌がり中に入っていくません。</p> <p>※茂みの高さができるだけ高く密である方が良い。やわらかそうな裸の土を見せないこともポイント。</p> <p>※軽石等を敷く方法を併用する等の工夫をすれば全体を植物で覆う必要がなくなる。</p> <p>※さらにハーブ系・柑橘系の香りがする植物の場合は相乗効果が期待できます。</p>
アルミホイル	<p>敷くと足音がするので、猫が嫌がると言われています。</p>
灰などを撒く	<p>ホームセンターや園芸店で販売されている園芸用の石灰や炭粉などを撒きます。</p> <p>※足に付き、猫が嫌がると言われています。</p>
とげとげシート	<p>ホームセンターや園芸店で販売されている「とげ状のシート」を敷きます。</p> <p>※全面に敷きつめなくても、跳び越えられない幅に敷けばよいとも言われています。「敷き詰めた場合などは有効」という意見と「あまり効かない」という両方の意見があります。</p>
物理的妨害	<p>ラティスやトレリスなどのガーデニング用の木製の格子柵を倒して置きます。</p>
ネットや柵	<p>猫が乗り越えられない高さで囲うか、侵入路をふさぎます。</p> <p>防猫ネットや防猫バーなどを設置するなどの方法もあります。</p> <p>※猫の足がかかる部分などがあれば3m以上で高さでも乗り越える場合があると言われてい</p> <p>ます。</p>

地面を覆う	<p>やわらかい土の地面は猫のトイレの場所になりやすいので、タイルを敷きつめたり、コンクリートで覆うという方法もあります。ただし、効かない猫もいます。</p> <p>※水を入れたペットボトルを設置する方法は、効果はほとんどありません。</p> <p>場合によっては、火災の原因となるのでやめましょう。</p>
-------	--

物理的に追い払う方法

水鉄砲など	<p>猫は水に濡れることを嫌います。</p> <p>※ 柑橘系の匂いを含んだ水だとさらに効果的と言われています。</p> <p>※ 散水式ホースを設置しておいて、猫を見かけたら水を出すなど。ただし、人がやっていることがわかってしまうと、不在時に侵入するようになるので、猫に見破られないように隠れてすることが必要かと思います。</p>
センサー感知式散水器	<p>センサーが感知すると自動で放水する製品が市販されています。</p> <p>※インターネット通販で、“ガーデンプロテクター(散水器)”などの名称で販売されています。価格は1万6千円程度。効果は確認していません。</p>
センサー感知式警戒音発生器	<p>センサーで感知するとガスを噴出させて猫を驚かせる製品が市販されています。</p> <p>※効果は確認していません。</p>
ブザー	<p>遠隔操作式のものやセンサーつきのが防犯コーナーに販売されています。猫が通過するときに鳴らすと警戒して近寄らなくなると言われています。</p>
超音波発生器	<p>センサー感知すると猫が嫌がる高周波の音を発生する製品が販売されています。</p> <p>※発生する高周波は人の耳にはほとんど聞こえませんが、不快感を感じる人もいます。</p> <p>※猫の個体差で反応が鈍い(あるいは、効果がない)場合があるようです。</p> <p>また、最初は効果があっても、だんだんと猫が慣れてしまう場合があるようで、購入価格と効果の兼ね合い(費用対効果)を考えて購入を判断する必要があります。</p> <p>※ 那珂川市役所環境課において、「猫よけ器」の貸出しを行っております。</p>

【留意事項】

このリーフレットに記載した方法は比較的效果があると思われる方法ですが、猫の個体差などによって効果は異なり、絶対に効くというものではありません。

また、一回で効くものでもありません。反復継続して行うことが大切です。

これらの方法を試される場合は、猫の侵入経路、通路、フン尿をする場所等を調べてから行うことで効果を上げることができます。

猫は愛護動物ですので虐待にあたるような行為をしてはいけません。法律で罰せられます。

